

行中の誇り 3つの心「素直な心」「前向きな心」「強い心」

い ち よ う 公孫樹

行田中学校だより
学べ 鍛えろ 夢を持って
第11号 令和3年3月12日

《 学校教育目標 》
よく考え自ら学ぶ生徒
誠実で情操豊かな生徒
心も体もたくましい生徒



「 幸せをつかみ取れ 」

校長 安藤 秀一

3年生の公立高校学力検査が終了し、3月より卒業期の取組が始まりました。春から新しい学校生活を迎える卒業生たちに、どんな時も幸せに生きていくコツとエールを贈るため、各クラスで校長が授業を行いました。◆「幸せとは何か」をテーマに、持続的な幸せ [Well-being] を自分に引き寄せ、自分も周りの人たちもみんなを幸せにする秘訣を練習も取り入れて講義しました。◆

その人が幸せかどうかは、その人の感じ方、考え方が結果を大きく左右します。「自分でコントロールできる“意図的な行動”」をどれだけ活かせるかが、幸せをつかむキポイントとなります。幸せはいつか自分のところへもやってくると信じて、ひたすら待つことも一つの方法ですが、実は幸せはいつも自分の身近なところにも存在しているのです。ただ、自分が気づかないだけ、自分からその幸せをつかんでいないだけということが現実です。◆そこで、幸せになるための秘訣その1は、「問い」の力を活用して今の幸せに気づくことです。「今、感謝したいことは?」「今、大切にしたいものは?」「今、夢中になれるものは?」と具体的に問いを立てると、その答えが容易に頭に浮かんできます。そうすると、問いの数だけ幸せを実感できるのです。自分の近くの“ないもの”を探しても見つかることはありません。しかし、“今あるもの”に気づくことで、「これだけ自分は満たされている」と知ることができます。◆幸せになるための秘訣その2は、自分を幸せにするスイッチをつくることです。野球のイチロー元選手がバッターボックスに入ると、必ずユニフォームの袖を少し引き上げる仕草をします。その時のバッティングの調子に関わらず、その仕草をすることで好結果を出せたときの気分になれるのだそうです。過去の自分がうまく行ったときの感情を呼び起こすスイッチをつくることで、いつでも喜びや満足感を味わうことができるのです。◆幸せになるための秘訣その3は、物事を違った視点から見てプラスのイメージに変えることです。急いでいて、ころんだ拍子に財布は落とさなかったものの小銭を落としてしまった時に、「小銭をなくして損をした」と考えるか、「財布を落とさずに小銭だけで済んで良かった」と考えるかで、その時の気持ちは正反対になります。客観的には- (マイナス) イメージのことも、見方を変えて+ (プラス) イメージに変えるだけで幸せな気持ちになれるのです。◆1時間の授業をとおして、幸せに対する考え方や、物の見方の幅が広がったと感想をもった生徒がたくさんいました。これから始まる新しい生活は、期待と不安が入り混じり、喜んだり悩んだりする日々の連続です。卒業生たちには、そんな人生の中でもこのスキルをしっかりと身に付け、いつも明るく元気な体と心でいてほしいと願っています。また、1、2年生の皆さんにも、辛くなったときにはぜひこのスキルで「今の自分もそこそこ幸せだな」と前向きにとらえてもらえたら幸いです。



【 1年間の力だめし 】 ~ 3/1 1・2年生実力テスト ~

3年生の公立高校受験に合わせて、1・2年生も今年1年間の力だめしとして5教科の実力テストを実施しました。2年生の廊下には、4月からの受験勉強に向けて参考書等の見本が置いてあり、休み時間に手にとってじっくりと見ている生徒の姿もありました。



【 今年は画面越しで... 】 ~ 3/5 3年生を送る会 ~

緊急事態宣言の延長により、感染を防ぐために全校生徒が一同に集まることができないため、今年は1、2年生からの動画メッセージを編集したものを3年生に披露しました。さらには、動画では伝えられない卒業生への感謝の気持ちを廊下掲示と焼印キーホルダーにして教室で手渡しました。



【 最後の思い出づくり 】 ~ 3/9 3年生さきたま古墳公園レク ~

楽しみにしていた3年生の卒業旅行が、緊急事態宣言再延長により残念ながら中止となりました。しかし、当日は好天気にも恵まれて、急な計画でしたが、学年全員でさきたま古墳公園に出かけてサッカー、バドミントン、鬼ごっこなどをしてひとときを楽しみました。中学生生活最後の思い出づくりとなりました。



【 オリジナル紙芝居 】 ~ 美術部と保護者有志によるオリジナル紙芝居制作 ~



美術部と保護者有志による行田中オリジナル紙芝居「クロバ、浮き城まつりに行く! ~だんべ踊り行中バージョン~」が、3年間の歳月をかけてついに完成しました。生徒が考案したオリジナルキャラクター“クロバ”が“ハスミ”と出会い、夏の浮き城まつりで行中バージョンのだんべ踊りをおどる、とってもローカルなストーリーです。紙芝居の完成を記念して、3月に各学年で読み聞かせを行っています。

【 1年間ありがとうございました 】

令和2年度は、1年間をとおして新型コロナウイルスの感染拡大により、授業や学校行事、部活動等が多大な影響を受けた過去に前例のない年となりました。しかし、生徒をはじめ、各ご家庭や地域の皆様の温かいご理解をいただき、感染を防ぎながらも大きな支障なく学校経営・運営を進めることができました。これも、行田中学校が今まで創り上げてきた保護者や地域との信頼関係の賜物と改めて強く感じています。残念ながら新型コロナウイルスの収束は未だ見込みも立たない状況です。しかし、行田中はこれからも生徒を主役に学校や地域が子供たちを支え、一日も早い新型コロナウイルス感染収束に努めながら明るい未来へ前進していきます。引き続き、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

